

# Nordic Market Biweekly Report

北欧市場ニュース～北欧投資の魅力と最新情報を隔週でお届けします

情報提供資料

2015年5月13日

## ★為替・金利の動向

### 対円レート推移

(2015年4月24日～2015年5月8日) ※単位は円

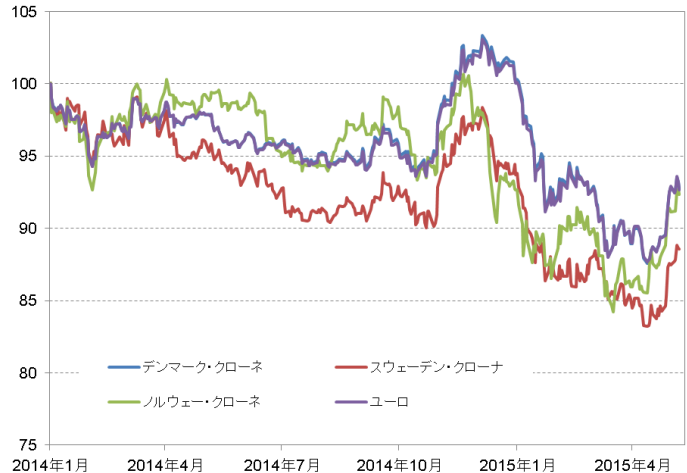
	4月24日	5月1日	5月8日	期間中騰落率
ノルウェー・クローネ	15.30	15.81	16.02	4.7%
スウェーデン・クローナ	13.79	14.31	14.49	5.1%
デンマーク・クローネ	17.33	18.02	17.99	3.8%
ユーロ(フィンランド)	129.38	134.58	134.19	3.7%

北欧4カ国通貨は対円で上昇しました。欧州域内の中央銀行による量的緩和政策の効果を示唆する、良好な内容の経済指標が域内で多数発表されたことが好感されました。また、これを受け、欧州域内で債券利回りが上昇し、米国資産の投資需要が相対的に後退したことも上昇要因の一つとなりました。

### 対円レート推移

(2014年1月1日～2015年5月8日)

※2013年末を100として指数化



出所: ブルームバーグデータをもとにBNPパリバインベストメント・パートナーズ株式会社作成

### 銀行間取引金利3カ月物推移

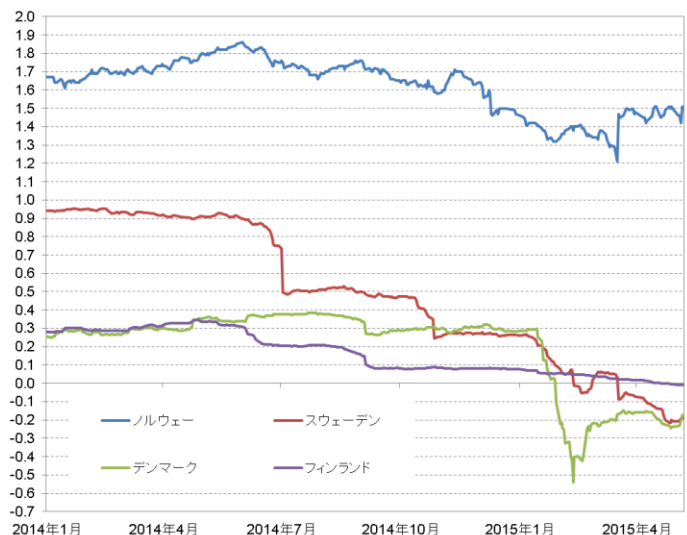
(2015年4月24日～2015年5月8日) ※単位は%

	4月24日	4月30日	5月8日	期間中変動幅
ノルウェー	1.490	1.500	1.500	0.010
スウェーデン	-0.199	-0.208	-0.187	0.012
デンマーク	-0.225	-0.238	-0.175	0.050
ユーロ圏(フィンランド)	-0.001	-0.005	-0.009	-0.008

欧州連合(EU)統計局(ユーロスタット)が発表した4月のユーロ圏消費者物価指数(CPI)速報値は前年同月比横ばいとなり、4カ月続いた消費者物価の下落が終息しつつあることを示唆する内容となりました。また、原油価格の反発等を背景に、債券市場では現状の水準での低金利の持続を疑問視する声も聞かれ、債券を売る動きが見られました。北欧4カ国のインターバンク市場では様子見姿勢が強まり、各国とも銀行間取引金利は総じて小動きとなりました。

### 銀行間取引金利3カ月物推移

(2014年1月2日～2015年5月8日)



出所: ブルームバーグデータをもとにBNPパリバインベストメント・パートナーズ株式会社作成

#### 【本資料に関するご留意事項】

本資料は、BNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社(当社)が、2015年5月に作成したものです。特定の金融商品の取得勧誘を目的としたものではありません。本資料における統計等は、当社が信頼できるとされる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。本資料中の情報は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。

## ☆北欧ニュース

### <スウェーデン中央銀行、政策金利を据え置く>

スウェーデンの中央銀行は5月6日、政策金利を▲0.25%に据置き、レポレートも▲0.4%のままとしました。市場は利下げを見込んでいたことから、スウェーデンクローナは対ユーロで上昇しました。その一方で、同行は市場からの金融資産の買上げ規模を400億～500億クローナの増加となる800億～900億クローナまで増加させ、量的緩和政策の拡大を図る方針です。

### <ノルウェー中央銀行、金利を据置く>

ノルウェー中央銀行は5月7日、政策金利(1.25%)の据置きを決定しました。これを受け、ノルウェー・クローネは対ユーロで8.45クローネから8.31クローネまで上昇し、2014年10月以来の高値を付けました。ただ中央銀行のオルセン総裁は来月の利下げの可能性について言及しており、市場では利下げ観測が燦々しています。欧州域内ではインフレ率が横ばいとなる中、ノルウェーの3月のインフレ率は2.3%で、中央銀行がターゲットとする2.5%近辺の水準であることから、政策金利は来月も据え置かれるとの見方もあります。

### <ノルウェー政府年金基金、石炭関連事業への投資から撤退>

ノルウェー政府年金基金は、時価総額5,000億クローネ(約66百万米ドル)に及ぶ石炭関連企業の株式を、2015年第1四半期末までに全て売却したと発表しました。環境破壊を伴う事業への投資を控えることがその主旨ですが、同様の方針は米国でも広まりつつあり、米国第2位の運用資産を持つカリフォルニア州教職員退職年金基金も、石炭事業への投資から撤退することを検討しています。

### <フィンランド、連立政権樹立へ>

4月19日に行われた総選挙の結果を受け、3党による連立政権樹立が濃厚となってきました。フィンランド中央党総裁フォーハ・シピラ氏は国民連合党、真のフィンランド人(政党名)に連立政権への参加を打診しており、シピラ氏が首相に、副首相には国民連合党総裁のアレキサンダー・スタブ氏が就任する見込みです。中央党は過去4年間は野党に甘んじたものの、今回の選挙で49議席、最大数の議席を確保しました。月内中に他2党と政策面で合意し、連立政権の樹立を目指しています。

出所:各種資料をもとにBNPパリバインベストメント・パートナーズ株式会社作成

\*文中に登場する企業名等は情報提供のためのものであり、当社が特定の有価証券等の取得勧誘を行うものではありません。



BNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第378号

加入協会 一般社団法人 投資信託協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

#### 【本資料に関するご留意事項】

本資料は、BNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社(当社)が、2015年5月に作成したものです。特定の金融商品の取得勧誘を目的としたものではありません。本資料における統計等は、当社が信頼できるとされる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。本資料中の情報は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。